

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

平成 28 年度 第 1 号 4 月 28 日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinshinotsukoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp/>

新年度のスタートにあたって

学校長 前川 亙

まだ肌寒さを感じるこの頃ですが、羽休めで飛来した白鳥が北の空へ飛び立っていき、新篠津村にも少しずつ春の息吹が感じられるようになりました。

4月11日に第24回入学式を挙行了いたしました。今年度は7学科7間口で42名の新入生を迎えました。新設校の影響は大きく、例年より少ない入学生になりました。3名という少ない人数の学科もあります。新入生はやや緊張気味ではありましたが、それ以上にこれからの学校生活への期待が強く感じられ、とても頼もしく思いました。

今年度は全校生徒数が161名で、そのうち寄宿舎生が156名でのスタートです。少し減ったとはいえ、寄宿舎生の数は全国の特別支援学校でもトップクラスです。教務、舎務及び事務部を含めた128名の教職員が学校教育目標である「豊かな心と つよい体をもって たくましく自立する 生徒を育てる」を具現化するために全力で教育活動に取り組んでいきます。



本校の校訓は「すすんでやりぬく人」です。校訓というと「自主自立」とか「切磋琢磨」など各校で開校時に作られたものが、生徒の指針として大事にされています。ただ、抽象的なものが多いですね。本校の校訓は、「すすんで」、つまり「自ら、主体的に行動する」と言うことです。そして、「やりぬく人」と続きます。これは、「粘り強く、あきらめない人」と言うことです。本校で学ぶ生徒が、このように育ててほしいという建学の理念が端的に表現され、生徒にもわかりやすい校訓だと感じています。私は、生徒に校訓を意識してもらいたいと考え、始業式や終業式などの校長講話の中で校訓について話すように心がけています。御家庭におかれましても、すすんでいろいろなことに挑戦し、最後まであきらめずにやるということをお子たちが意識できるような活動場面を工夫していただければありがたいと思います。



新しい学校の一年が始まりました。子供たちの成長した姿を見るのが我々教師にとっての大きな喜びですが、この一年で生徒たちがさらに大きく成長することを願っています。今年度も保護者の皆様をはじめとして多くの方々に本校の教育活動について御理解いただくとともに御支援と御協力をいただければ幸いに存じます。

入学式

第1学年主任 野呂 善信



新入生代表挨拶

春の柔らかな日差しが差し込む体育館で、4月11日（月）に第24回入学式が行われました。

入学式朝、保護者と共に登校した入学生は、教室で名札、校章、そして、生活家庭科の先輩が、一つ一つ心を込めて作ってくれたコーサージュを付け、身だしなみを整えます。担任から一日の流れや名前が呼ばれたら返事をして起立することなどの確認があり、たくさんの方々に見守られながら式に参加しました。大人に見える先輩の姿、初めて聴く校歌など不安と緊張の中で校長から入学許可をもらい、晴れて北海道新篠津高等養護学校の仲間入りです。新入生代表挨拶は、産業科の吉田直斗さんが、新しい生活への不安とともに、友との出会いや学習への期待を込めて入学の決意を発表しました。入学許可の際に学級担任から一人一人名前を呼ばれて元気よく返事をする姿を見て、素敵な入学生42名のこれからの成長がますます楽しみになりました。

4月は、学校や寄宿舎に慣れることをねらい「学校・寄宿舎生活の流れ」「先輩の学習の見学」「一年間の行事」などの見通しをもつための学習に取り組んできました。また、身体測定、内科検診、耳鼻科検診などの検診や新入生歓迎会も行われております。

これからいろいろな壁が待ち受けています。保護者と目標を共有しながら3年後、生徒一人一人が、自分の進路を見つけて社会に巣立っていけるように職員27名で応援していきたいと思っております。

転入者の紹介

佐々木 博充

(教頭)

佐々木建教頭の後任として兩竜高等養護学校より参りました佐々木博充と申します。佐々木つながりで紛らわしいのですが、どうぞよろしく申し上げます。ここで簡単な自己紹介を…。出身地は標茶町（道東です）、家族は鷹栖町（旭川市のとなり町）に住んでいます。単身赴任10年目になります。

生徒たちの自立に向けた力の向上と、学校生活が更に充実したものになるよう力を尽くして参ります。

清野 浩司

(家庭科2年)

岩見沢高等養護学校から赴任しました清野浩司です。

前任校では、工業科で主に実習系の授業を担当してきました。昨年度は給食で出た残飯を有効利用しようと太陽光パネルで発電した電気をバッテリーに蓄電し、それを利用した自動回転式コンポストを生徒と一緒に制作しました。新篠津高等養護学校では、初めての家庭科ということで早く仕事を覚え、生徒と楽しい日々を過ごせるよう頑張ります。よろしく申し上げます。

須藤 栄子

(生活園芸科 3年)

雪がほとんど降らない伊達より赴任いたしました。通勤途中の畑には雪が残っていて驚きながらも、少し前まで伊達にもいた白鳥たちが虫をついばむ姿に少しほっとしながら毎日車を走らせています。広大な田畑に囲まれた環境、村や周辺の方々との関わりの中で、生徒たちが卒業後の生活に必要な力を身につけられるよう、微力ではありますが、お手伝いしたいと思っております。体育、美術、国語等で一緒に学習します。よろしくお願いいたします。

近藤 和也

(生活家庭科 1年)

北海道今金高等養護学校から赴任してきた近藤和也です。

前任校では、農業科で生徒と一緒にたくさんの花や野菜、『土』にふれ、ランニングで汗を流してきました。

自然豊かな新篠津でも、生徒と一緒に汗をかき活動していきたいと思えます。皆様、よろしくお願いいたします。

中野 智貴

(生活園芸科 2年)

このたび新篠津高等養護学校に赴任した中野智貴です。趣味はスポーツで、学生時代は野球部に所属し、現在も続けています。初めてなことも多くわからないこともありますが、情熱をもって生徒と真摯に向き合っていきたいと思えます。また、自然豊かなこの新篠津村で地域の特色に触れながら豊かな心を育み、生徒と共に学び合い、笑顔で取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

鎌田 美帆

(生活技術科 1年)

6月末までの3ヶ月間お世話になります。鎌田美帆です。主に1年生の生活技術科の実習を担当させていただきます。私にとりましては、初めてのことが多いと思いますが、貴重な経験ができることをとても楽しみにしております。生徒の皆さんと一緒に、自然豊かな新篠津で成長できるよう精進してまいります。短い期間ですので、一刻も早く環境に慣れ、生徒の皆さんと楽しく過ごしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

長内 恵

(女子棟5号室)

美唄養護学校から赴任しました寄宿舎の長内 恵です。

今までの規模より数倍大きな学校で驚いています。方向音痴なので学校内で迷子になりそうで不安ですが、校内や舎内を早く覚えて一人でも行き来できるようにになりたいです。また学校や舎の先生方の数も多いので顔と名前を早く一致させたいです。一番は生徒さんたちの顔と名前を早く覚えて楽しく過ごしていきたいです。よろしくお願いいたします。

遠藤 耕平

(男子棟 8号室)

北海道札幌高等養護学校より赴任しました。

学校の規模の大きさに驚きつつも、やりがいを感じています。1日も早く慣れて、恵まれた新篠津の自然の中、充実した毎日をご過ごしていけるよう努めていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

宮岸 里子

(女子棟 12号室)

伊達高等養護学校から赴任しました、女子棟 12号室担当の宮岸里子です。

雪のない伊達市から、雪の残る新篠津への赴任で、自然豊かな景色に驚きながらも、のどかな雰囲気にほっとしています。生徒の皆さんの顔と名前を一日も早く覚えて、楽しく生活していけるようがんばりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

伊藤 直哉

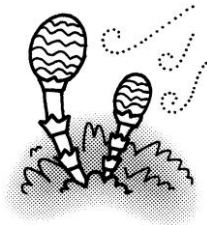
(男子棟 14号室)

オホーツクにある紋別養護学校より赴任してきた、伊藤です。前任校とは学校の大きさも舎生の人数も違い圧倒されている毎日です。一日でも早く、みなさんの顔と名前を覚えて、一緒に頑張っていきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

1学期の主な行事予定

| | |
|------------|-------------------|
| 見学旅行 (3年生) | 5月17日(火)～5月20日(金) |
| 社会見学 (1年生) | 5月26日(木) |
| 体育大会 | 6月10日(金) |
| 宿泊研修 (2年生) | 6月22日(水)～6月24日(金) |
| 遠足 | 7月 8日(金) |
| 1学期終業式 | 7月25日(月) |
| 夏季休業 | 7月26日(火)～8月17日(水) |



編集後記

日の光にキラキラと輝くハウスや柔らかな土の香りに、少し足早な春の訪れを感じるこの頃です。新篠津高等養護学校では、新しい仲間を迎え新生活がスタートしています。

今年度も、よろしくお願いいたします。